

Golden Age Project PRE-73 mk3



取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

Golden Age Project / PRE-73 MK3

PRE-73 MK3 は 1ch ビンテージスタイルのマイク/ライン/楽器用のプリアンプです。お求めやすい価格設定ながら、信号パスはオールディスクリート構成、入出力にトランスフォーマーを採用したバランス回路、すべてが贅沢なビンテージ機器と同等に組み上げられています。

近年のマイクアンプデザインの主流であるインテグレートデザインは、小さく安く便利で多く生産されていますが、そのサウンドは皆が求める美しいサウンドではありません。特にクリーンなデジタルレコーディングにおいてはその傾向が顕著で、多くのミュージシャンやエンジニアは古き良きアナログ時代の、リッチでシルキーで雄大なビンテージサウンドを求めてやみません。

PRE-73 MK3 はクラシック & ビンテージ NEVE 1073 モジュールのプリアンプと同等の回路設計となっており、たいへんに音楽的で、温かいパンチ感とスイートな質感のサウンドキャラクターを持っています。このクラシックなサウンドキャラクターは私たちが数多くの素晴らしいレコーディングで耳にしてきたサウンドそのものであり、どんなサウンドソースやジャンルにも普遍的な安心感のあるアナログサウンドを提供します。

GAP(Golden Age Project)ではこの憧れのサウンドを、驚くべき価格で全ての人に提供します。

USING PRE-73 MK2

PRE-73 MK3 を使用して最大のパフォーマンスを引き出すポイントを上げてみます。

- AC24V の AC アダプター (付属)、または別売の外付け PSU ユニットから電源を供給します
- フロントパネルの電源スイッチをオンにします
- XLR/TRS のコンボジャックに XLR またはフォンジャックを接続してライン、またはマイクのサウンドを入力します。マイクとラインソースは同時に接続することも可能です

- MIC/LINE のゲイン位置はゲインスイッチに表記されています。
- もし倍音を抑え、カラー少なくマイクの音を増幅したいときには、アウトプットのボリュームを最大位置付近で設定し、Mic/Line のゲインスイッチで全体のレベルを調整してください。
- もし倍音を多めに全体のキャラクターと色付けを強めに調整したい場合には、Mic/Line のゲインスイッチを高めに、アウトプットのボリュームを絞り気味に設定してください。より強く入力ステージでドライブした、倍音がリッチなビンテージサウンドになります。
- さらに強い色付けとキャラクターを実現するには、アウトプットのボリュームも同時に高く設定します。倍音と歪み感がさらに増し、力強い、ファットなアナログサウンドになりますが、同時に滑らかでスムーズな NEVE サウンドです。PRE-73 MK3 の後に接続される機器に対してゲインが大きすぎる場合には、例えば SHURE A15AS (XLR タイプの切替式 PAD コネクタ)などを利用してゲインを下げてあげると良いでしょう。
- GAP の PRE-73MK3 は基準レベルが+4dB で設計されていますので、もし-10dB レベルの機器に接続するときにも SHURE A15AS のような簡単な PAD コネクタがあると便利です。また出力レベルが 600 オームのロードで 1.23V の時に VU メーターの 0 位置が点灯します。
- 楽器を入力する場合にはフロントパネルに 100k オームのハイインピーダンス楽器入力 (TRS フォン) が用意されています。この入力を有効にするには DI スwitch をオンにします。DI 入力はゲインスイッチのマイクポジションでゲイン調整します。リアパネルのマイクとライン入力も同時に接続された状態になります。
- コンデンサーマイクを使用する場合には 48V ファントム電源のスイッチをオンにしてください。機器を守るためにマイクの取り外しは 48V スwitch を操作してから 10 秒以上経ってから行ってください。
- LOW-Z スwitch をオンにすると、マイクの入力インピーダンスを通常の 1200 オームから、300 オームに変更します。この事でマイクのトーンとサウンドシェイプを変えることができるので、よりバリエーションの多いサウンドメイクを可能にします。また通常ですと全体のレベルも大きくなります。

- PHASE スイッチはサウンドの位相を反転させます。マルチマイクの録音時にたいへん有効です。たとえばスネアドラムの上下に2本のマイクを使用するときなどに片側の位相を反転させます。
- リアパネルにはアンバランスのインサートジャックを用意しました。マイクプリに他のEQ やエフェクターをインサートすることができます。通常はこの端子には GAP の EQ-73 をインサートします。オペレーティングレベルは-18dBu で、センド=Tip、リターン=Ring となっています。
- 出力トランスフォーマーは 600 オームロードでも使用することができます。入力インピーダンスは 10k オーム以上です。PRE-73 MK3 を 600 オームでターミネーションしたい場合には XLR 出力ジャックのちょうど裏側（内部）にある JP1 ジャンパーを外します。低いインピーダンスをもったビンテージ機器と本機を組み合わせたい場合などにお試しく下さい（詳細は弊社技術までお問い合わせください）。

MK2 からの新機能

- AIR EQ スイッチ - AIR バンド帯 (30kHz)をブーストできるスイッチです。真中のポジションでオフ、AIR1 ポジションで 3dB ブースト、AIR2 ポジションで 6dB ブーストになります。
- ハイパス・フィルタースイッチ - 6dB/Oct でのハイパスフィルター（ローカットフィルター）を装備しています。真中のポジションでオフ、HP1 で 40Hz、HP2 で 170Hz となります。

Create Music

-Be Happy!